

茨城大学 教育学部附属小学校

水戸市三の丸2-6-8

校長:勝本 真

副校長:久地岡啓一郎

2017

教 育理念

「個」の確立と「はらから」の精神の両立

同胞（はらから、仲間）とのよりよいかかわり合いの中で、児童のもつそれぞれの個性や能力を実現させながら、自立の精神を養うことを目指す

研 究テーマ

未来をつくる子どもを育てる

予測不可能な社会を生き抜く子どもを育てるには、知識・技能を活用して判断・行動し、他者と支え合い、よりよいものを求めて主体的に取り組む子どもを育てていく

【探究的な対話】

学習材・他者・自己との対話を、探究的に連続させていく学習デザイン。意図的に働きかけ、その働き返しを自己評価して、新たな問いを生み出していく。



【自分づくりとしての場】

子ども達の向上の変容をめざして、学びたくて学ぶ子どもの姿を追い求めていく。



異 年齢教育活動

はらからハーモニーを奏でよう

1～6年生が各4人集まった25人程度の「もうひとつの学級」で、清掃活動、話し合い活動、遊び、道徳などを中心に、仲間と共に活動をつくりあげていく

【ICT・プログラミング教育】

タブレット80台を活用した学びと、先進的なプログラミング教育への取り組み。



地 域貢献

教育実習・研修支援・講師派遣

2期130人の大学3年生基本実習
20人の教職大学院課題発見実習
県採用初任者300名の授業参観
指導主事研修会、他大学からの参観
出前授業、研究会講師 など

【異年齢交流の日常化】

毎日の掃除、総合的な学習の時間などで、いろいろな学年と常に支え合う関係を大切にする。



【キッズワールド】

子ども達自身でストーリーや種目を考え、1年生から運営に参画していく。

